



後継者確保へ婚活支援

スターシップ人財銀行 中小企業の事業承継

「娘婿を探して」相談増

会社の経営を次世代に引き継ぐ際、適材を社外から迎え、婚姻によって家族の一員となってもらった上で、後継者にしたいと考える中小企業の経営者が北陸で増えている。人材紹介を手掛けるスターシップ人財銀行(金沢市)では、後継者や幹部候補の人材募集に関する相談のうち37件が「次期経営者候補になる娘婿を探してほしい」という内容で、婚活を視野に入れた後継者確保を支援している。

スターシップ人財銀行によると、景気回復に伴って「経営環境の安定している今のうちに事業承継を済ませたい」と考える中小企業経営者が増え、相談件数は伸びている。経営者の息子や娘が跡を継ぐ意思がなかったり、眼鏡にかなう人材が社内にはいないなど、中小企業の約6割が後継者不在の悩みを抱えているともいわれる。こうした背景から、社外からの経営者候補の人材紹介を望む企業が増えているとみられる。

ワンター兼会長は「一般的なウインター紹介と比べてはるかに難易度は高くなる。お見合いしながらのコーディネートを進めている」と話す。同業種や東京など都市圏

人材を紹介する際、家族経営に近い中小企業の場合は会社の理念や方針に合っていることに加え、家族の一員としてなじめることも重要な要素となる。スターシップ人財銀行の梶原伸フア

じて既存企業の活性化につながることも、会社経営に意欲のある若者の発掘も進める構えだ。

で活躍する会社員など、経営者の右腕となり、将来の役員候補となる人材を探し、順次、企業に紹介する。同社では、人材紹介を通